

会計名 一般会計			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	長寿生きがい係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへ補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施	
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	いきいきクラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、心と身体の健康づくりを推進する。					主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへ補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施		
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令								
	対象者	クラブ会員および60歳以上の高齢者		事業期間	昭和56年度～					
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 中止 グラウンド・ゴルフ大会 中止 おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 中止 簡易健康度評価 中止 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（54クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 中止 グラウンド・ゴルフ大会 中止 おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 中止 簡易健康度評価 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（53クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 簡易健康度評価 		<ul style="list-style-type: none"> いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（52クラブ）へ補助金の交付 ゲートボール大会 グラウンド・ゴルフ大会 おじいちゃんとおばあちゃんに行く東山動植物園 簡易健康度評価 		
		成果	いきいきクラブ連合会及び各単位クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。 高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。							
課題		単位クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、会員増を図る必要がある。 参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標		いきいきクラブ加入者数（人）		6,741	6,363	5,958	6,000	—		
活動指標		いきいきクラブ加入率（％）		17.9	16.7	15.4	15.4	—		
他市との比較検証		近隣市においても、委託ではなく老人クラブ連合会の事業として補助する形で、同じような内容の事業を実施している。								
C 事業コスト		単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①	6,075	6,001	6,517	7,166	合計 6,517,326 円				
	財源	特定財源	1,583	1,551	1,702	1,669	委託料 595,977 円			
		一般財源	4,492	4,450	4,815	5,497	負担金、補助及び交付金 5,921,349 円			
	職員人件費 ②	3,584	3,331	3,463	4,669					
	総事業費（①+②）	9,659	9,332	9,980	11,835					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称					
4年度までの累積事業費		0		いきいきクラブ連合会補助金（県）						
6年度以降の事業費見込		0		いきいきクラブ補助金（県）						

会計名			高年齢者の生きがいと健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	長寿生きがい係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができるいきいきクラブの役割は重要であり、必要度は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位クラブの活動の活性化を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	各単位クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となってはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	いきいきクラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
いきいきクラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法としていきいきクラブ活動には大きな期待が寄せられているため、いきいきクラブ連合会及び単位クラブにおいて、会員の増加を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名							担当部	福祉健康部	
一般会計			地域介護等推進事業				担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護予防推進係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	家庭介護や認知症についての正しい知識を学ぶ機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。		主たる内容	○家庭介護教室の開催 ○認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成する。また、ステップアップ講座により、地域で自主的に活動できるサポーターを育成する。 ○認知症に関するパンフレットの作成 民生委員や地域包括支援センター等を通じて啓発を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令							
		対象者	市民		事業期間	平成19年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ3日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 10回 453人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 27人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 12回 457人 個人 3回 63人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 46人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 12回 361人 個人 3回 56人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 38人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 12回 490人 個人 3回 64人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 50人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布	
成果		専門家による講演、演習により、家庭介護に必要な基本的な知識、技術を身につける機会を提供できた。地域包括支援センターの協力により、地道な広報活動を続けてきた結果、各種団体や民間企業など、様々な方面から受講希望が集まるようになった。また、平成24年度から小学校及び中学校でのサポーター養成講座の開催を働きかけ、子どものうちから認知症に対する理解を深める機会を設けることができた。							
課題		認知症高齢者は増加しており、その家族や地域等への周知や予防啓発は重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		認知症サポーター養成講座受講者累計数（人）			10,109	10,629	11,046	11,600	12,500
活動指標		家庭介護教室参加者数（人）			37	44	106	120	120
他市との比較検証		他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		83	229	465	499	合計	464,640 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	22,000 円	
		一般財源	83	229	465	499	需用費	320,640 円	
	職員人件費 ②		2,539	2,574	2,485	2,526	使用料及び賃借料	122,000 円	
	総事業費（①+②）		2,622	2,803	2,950	3,025			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			地域介護等推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護予防推進係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	家庭における介護や認知症に関する正しい知識を身に付ける機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して生活できる家庭や地域づくりを推進することは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	様々な分野の専門職による実践的な講義や演習は効果的である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	要介護者や認知症高齢者等を介護する家族に対して、介護方法や認知症に関する知識を身に付けるための場を提供することは、市が主体となって実施すべき施策として総合計画にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	介護や認知症に関して正しい知識を身に付けることは、介護予防の増進にもつながる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
認知症に対する理解や地域での見守り、支え合いの機運を高めるため、引き続き認知症サポーター養成講座等を開催していく。					

会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			介護人材確保・育成支援事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護保険企画係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護人材の確保・育成・定着の取組を促進することで、本市の安定的な介護保険制度の運営を図る。				主たる内容	○介護に関する入門的研修を実施する。 ○介護職員初任者研修の資格取得及び主任介護支援専門員の資格取得・更新に必要な研修に係る費用に対して、補助金を交付する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	根拠法令	主任介護支援専門員研修費補助金交付要綱、介護職員初任者研修費補助金交付要綱								
	対象者	刈谷市在住、在勤、在学の方 他			事業期間	令和3年度 ~ 令和5年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		—		・介護に関する入門的研修参加者 17人 ・介護職員初任者研修の資格に対する補助 0件 ・主任介護支援専門員研修の資格に対する補助 5件		・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修の資格に対する補助 10件 ・主任介護支援専門員研修の資格に対する補助 9件		・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修の資格に対する補助 15件 ・主任介護支援専門員研修の資格に対する補助 15件		
成果		介護保険事業計画における重点施策として介護人材の育成支援を掲げ、研修制度の一層の活用に向け周知を行った。また、初任者研修は、個人向けの補助制度を新たに設けるとともに、既存の事業者向けの制度についても、事業者の負担割合を問わず補助できるようにするなど制度の充実を図り、介護人材の確保・育成・定着に向けた取組支援と介護保険制度の安定的な運営に繋げることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
活動指標	制度利用者数（人）		2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
指標			—	22	39	50	—			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	668	1,059	1,755	合計	1,059,040 円		
	財源	特定財源	0	500	577	940	委託料	484,440 円		
		一般財源	0	168	482	815	使用料及び賃借料	13,600 円		
	職員人件費 ②		0	76	75	77	負担金、補助及び交付金	561,000 円		
	総事業費（①+②）		0	744	1,134	1,832				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		介護普及啓発事業費補助金（県）						
6年度以降の事業費見込		0		介護人材資質向上事業費補助金（県）						

会計名			介護人材確保・育成支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	介護保険制度施行後、要介護（要支援）認定者数の増加とともにサービス量も増加していることから、介護人材の確保やより専門性の高い介護人材の育成が喫緊の課題となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱に基づく、補助対象事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上を促進することを目的とした事業であり、安定的な介護保険制度の運営を図るため、市が主体となって実施すべきものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上は、安定的な介護保険制度の運営と介護サービスの充実に繋がるものである。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢化の進行に伴い、介護人材の確保・育成・定着は急務であり、今後も介護職に対するニーズは高まることが予測されるため、継続して事業を実施し、介護職への関心を喚起するとともに、入職者のすそ野を広げ、人材の参入促進と資質の向上、育成支援を図る。					

会計名			高齢者日常生活支援事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。	主たる内容	○携帯型緊急通報機器の貸与 ○固定型緊急通報システムの設置 ○声の訪問の実施 ○日常生活用具の給付 ○家具転倒防止器具の取付 ○布団乾燥等の実施 ○友愛訪問の実施						
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	根拠法令	刈谷市在宅高齢者見守り安心事業実施要綱、刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱 他								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和60年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・固定型緊急通報システム 544人 ・声の訪問 39人 ・福祉電話 11人 ・日常生活用具 5人 ・家具転倒防止器具 2世帯 ・布団乾燥等 108人 ・友愛訪問 8人		・固定型緊急通報システム 566人 ・声の訪問 43人 ・福祉電話 11人 ・日常生活用具 15人 ・家具転倒防止器具 4世帯 ・布団乾燥等 90人 ・友愛訪問 3人		・携帯型緊急通報機器 577人 ・固定型緊急通報システム 48人 ・声の訪問 49人 ・日常生活用具 27人 ・家具転倒防止器具 5世帯 ・布団乾燥等 71人 ・友愛訪問 2人		・携帯型緊急通報機器 590人 ・固定型緊急通報システム 55人 ・声の訪問 55人 ・日常生活用具 30人 ・家具転倒防止器具 9世帯 ・布団乾燥等 95人 ・友愛訪問 1人		
成果		ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標	携帯型緊急通報機器・固定型緊急通報システム利用者数（人）		544	566	625	645	660			
活動指標	布団乾燥等利用者数（人）		108	90	71	95	110			
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		18,173	19,307	21,997	24,067	合計	21,997,395 円		
	財源	特定財源	78	72	69	91	報償費	6,000 円		
		一般財源	18,095	19,235	21,928	23,976	役務費	7,412 円		
	職員人件費 ②		5,152	5,224	5,346	6,200	委託料	21,229,207 円		
	総事業費（①+②）		23,325	24,531	27,343	30,267	使用料及び賃借料	250,827 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			高年齢者日常生活支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯は、急病や事故等の緊急時に不安を抱えている方が多く、見守りや事故防止につながる生活支援や緊急通報システムの必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	火気取扱いや布団乾燥など、高齢者では扱いが難しい動作について、事故の無いようにフォローできる事業であるが、利用のきっかけがケアマネや民生委員、包括支援センター等職員の勧めであることが多く、他者の客観的介入が必要と思われる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	高齢者が住み慣れた地域で長く在宅で生活するため、サービスの充実を図り市が実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	刈谷市高齢者福祉計画に基づき、高齢者が住みなれた地域や家庭で生活を営めるよう、在宅生活を支援するための事業として実施している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢化の進行にともない、今後ますますニーズは高まると予測されるため、継続して事業を実施する。					

会計名 一般会計			高齡者タクシー助成事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齡福祉係	
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援						
	目的	高齡者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、外出及び医療機関への通院等を支援し、福祉の増進を図る。	主たる内容	○高齡者タクシー 要支援2以上、かつ、市民税非課税世帯の65歳以上の高齡者に対し、タクシー料金助成利用券（上限780円）を一月当たり3枚交付する。 ○介護タクシー 要介護1以上、かつ、特殊車両の必要な65歳以上の高齡者に対し、車椅子昇降機付き車両又は寝台付車両のタクシー料金助成利用券（上限4,270円）を一月当たり3枚交付する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市高齡者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成14年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B事業実績 D実績 O実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 198人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 309人		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 249人 ※有料老人ホーム及びサービス付き高齡者向け住宅等の入所者を新たに助成対象とした。 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 398人 ※タクシー利用券を使用できる目的地の制限を廃止した。		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 266人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 470人		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 328人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 519人	
成果		タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図ることができた。							
課題		介護タクシー券の利用率が30%前後と低く、令和4年度には30%を下回っているため、利用率を上げる取り組みが必要である。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標	高齡者タクシー料金助成利用券利用率（%）	58.6	57.3	61.2	72.7	72.7			
活動指標	介護タクシー料金助成利用券利用率（%）	31.0	31.5	29.7	36.0	36.0			
他市との比較検証	県内約半数の市で同様の事業を実施している。1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。								
C事業コスト	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①	12,843	16,746	19,798	22,436	合計	19,798,060 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	536,250 円	
		一般財源	12,843	16,746	19,798	22,436	役務費	151,000 円	
	職員人件費 ②	1,568	1,590	1,732	1,760	扶助費	19,110,810 円		
	総事業費（①+②）	14,411	18,336	21,530	24,196				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齢者タクシー助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	高齢者の医療機関への通院を支援するとともに、閉じこもり防止、買い物等生活におけるの移動手段としても重要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	タクシーの事業所等と連携し、高齢車の移動手段の確保として有効な事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	総合計画において、安心安全に移動できる交通移動環境の形成を目指し、交通弱者の移動支援の充実を課題認識されている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	対象者要件及び利用条件の拡充により、利用率が向上したため。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢者の移動手段として継続するものの、普通タクシーと介護タクシーなど車種により補助額の違いがあるため、今後タクシー業界の業務車の動向により、補助額の検討を要す。また、総合事業が始まった事で、対象要件を要支援2以上から要介護に変える事も検討を要す。					

会計名							担当部	福祉健康部	
一般会計			住宅改善費等補助事業				担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護認定給付係	
3	1	3							
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるよう住宅改善費等の一部を補助することにより、高齢者の自立支援及び介護者の負担軽減を図る。	主たる内容	○住宅改善費 要介護認定者等の住宅改善費用が介護保険上限額（20万円）を超えた場合に、超えた費用の一部を補助する。 ○介護支援ベッド貸与利用料 離床動作が困難な軽度（要支援1・2、要介護1）の要介護認定者等へ、介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。 ○住宅バリアフリー化工事費 要介護認定等を受けていない高齢者の住宅バリアフリー化工事費の一部を補助する。（上限額10万円）					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事費補助金交付要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・住宅改善費 補助人数 186人 補助金額 16,818,342円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 187人 補助金額 5,581,671円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 33人 補助金額 2,737,908円		・住宅改善費 補助人数 156人 補助金額 17,156,510円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 173人 補助金額 4,960,230円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 43人 補助金額 3,863,154円		・住宅改善費 補助人数 204人 補助金額 22,827,166円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 167人 補助金額 4,466,475円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 89人 補助金額 7,282,412円		・住宅改善費 補助人数 282人 補助金額 31,600,000円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 211人 補助金額 5,654,000円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 167人 補助金額 13,685,000円	
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。							
課題		高齢化率の上昇に伴う補助人数及び補助額の増加に対する適切な審査と予算執行を行う必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
活動指標	住宅改善費補助人数（人）	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標	住宅バリアフリー化工事費補助人数（人）	186	156	204	282	282			
他市との比較検証	住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施しており、補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①	25,308	26,156	34,870	51,499	合計	34,870,053 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	34,870,053 円	
		一般財源	25,308	26,156	34,870	51,499			
	職員人件費 ②	224	227	226	230				
	総事業費（①+②）	25,532	26,383	35,096	51,729				
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称					
	4年度までの累積事業費	0							
	6年度以降の事業費見込	0							

会計名			住宅改善費等補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護認定給付係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	住宅改善費等補助は介護保険の給付対象を超えた住宅改修費に対する補助であるが、高齢化率及び介護保険申請件数の上昇にも関連し、市民ニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	住宅改善費補助では、介護保険給付と市補助金をまとめて申請できるようにするなど、申請者の利便性と事務の効率化が図られている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	介護保険サービスに係わる事業のため、保険者の市が実施すべき事業である。 高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるよう総合計画で介護サービスの充実を図る上で必要な事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	自宅で安心して暮らすために必要な住環境が整えられており、介護サービスの充実に大きく貢献している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	住宅改善費等補助は、高齢化が進む中、第5期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点課題である地域包括ケアシステムの推進施策である高齢者の住まいの整備を促進するため、平成25年6月より補助対象改修費の上限額を10万円から20万円に拡充すると同時に、100%であった補助率を介護保険の給付率に合わせて自己負担も求め補助制度の適正化を図った。 令和3年度からの第8期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画においても、安心な生活環境の整備として高齢者に配慮した住まいの充実を掲げており、継続して事業を実施していく。				

会計名			介護施設等整備費補助事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	介護保険企画係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護保険事業計画の整備目標に基づき、安定した質の高い介護サービスの提供体制を整備するため、民間事業者が整備する介護施設等の施設整備費及び開設準備経費に対して補助を行う。				主たる内容	施設整備費及び開設準備経費に対して、補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱							
	対象者	介護サービス事業者			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・認知症グループホーム ・小規模多機能型居宅介護 補助件数 2件 補助金額 70,560千円		—		認知症グループホーム ・施設整備 補助件数 1件 補助金額 33,600千円 ・開設準備 補助件数 1件 補助金額 15,102千円		看護小規模多機能型居宅介護 事業所 ・施設整備 補助件数 1件 補助金額 33,600千円 ・開設準備 補助件数 1件 補助金額 7,551千円		
成果		第8期介護保険事業計画の整備目標に基づき、令和5年4月に認知症対応型共同生活介護（認知症グループホーム）事業所が開所されたことにより、安定した質の高い介護サービスの提供体制を整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		認知症グループホーム・（看護）小規模多機能型居宅介護事業所数（箇所）				2	—	1	1	—
成果指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		70,560	0	48,702	41,151	合計 48,702,000 円			
	財源	特定財源	70,560	0	48,702	41,151	負担金、補助及び交付金 48,702,000 円			
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		75	0	75	77				
	総事業費（①+②）		70,635	0	48,777	41,228				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		地域密着型サービス施設等整備助成事業費補助金（県）						
6年度以降の事業費見込		0		介護施設開設準備経費等支援事業費補助金（県）						

会計名			介護施設等整備費補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	原則として刈谷市民のみが利用できる地域密着型サービス事業所の整備であり、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らし、自宅近くで介護サービスを受けられることを目的とした、地域包括ケアシステムの構築の上で重要なサービス拠点の整備に対する補助制度である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱の規定に基づき補助金を交付している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	認知症対応型共同生活介護と（看護）小規模多機能型居宅介護事業所はその利用が刈谷市民に限られる地域密着型サービスの事業所であり、また、第8期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画で整備を位置付けている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	整備費等に対して補助金を交付することで、事業者の安定した経営による良質なサービスの提供に寄与できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢者等実態調査の結果を踏まえ、地域密着型サービスの利用見込みを適切に推計した上で、今後の整備及び補助金交付の必要性を検討する。					

会計名			基幹型地域包括支援センター整備事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	基幹型地域包括支援センターを整備することで、市内6箇所の地域包括支援センターの運営を適切かつ効率的に実施できる環境を構築し、高齢者福祉の充実を図る。				主たる内容	令和4年度に社会福祉協議会内に新設された刈谷市基幹型地域包括支援センターが、令和5年度から市役所で運営を開始するに当たり庁舎の改修を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	介護保険法						
			対象者	刈谷市社会福祉協議会		事業期間	令和4年度 ~ 令和4年度			
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		_____		_____		庁舎1階相談室の改修		_____		
成果		虐待等の困難事例への対応の迅速化、市・各地域包括支援センターとの連携強化等が図られるよう市役所1階相談室の改修工事を行い刈谷市基幹型地域包括支援センターを社会福祉協議会内から移設した。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	地域包括支援センター設置数（基幹型を含む）（箇所）				6	6	7	-	-	
指標										
C 事業コスト	他市との比較検証									
	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	5,646	0	合計	5,646,300 円		
							工事請負費	5,646,300 円		
	財源	特定財源	0	0	1,190	0				
		一般財源	0	0	4,456	0				
	職員人件費 ②		0	0	1,280	0				
	総事業費（①+②）		0	0	6,926	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
		4年度までの累積事業費		0		地域密着型サービス施設等整備助成事業費補助金（県）				
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			基幹型地域包括支援センター整備事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	刈谷市基幹型地域包括支援センターの設置により、地域に密着した地域型地域包括支援センターの運営を円滑に行うことに寄与できた。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	市役所の改修工事のより、工事費等に係る経費を削減できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	刈谷市基幹型地域包括支援センターの設置は、第8期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点施策に掲げている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	高齢者の住み慣れた地域での支援体制づくりに寄与できた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
各地域包括支援センター間の総合調整や複雑化する虐待等の後方支援を行うことにより、地域における高齢者支援を推進する。					

会計名 一般会計			介護保険会計繰出事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。				主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令 介護保険法								
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成12年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		介護給付費分：1,010,025,000円		介護給付費分：1,013,993,000円		介護給付費分：1,061,768,000円		介護給付費分：1,098,870,000円		
地域支援事業費分：167,696,000円		地域支援事業費分：135,003,000円		地域支援事業費分：180,172,000円		地域支援事業費分：197,878,000円				
低所得者保険料軽減分：72,274,000円		低所得者保険料軽減分：74,212,000円		低所得者保険料軽減分：77,763,000円		低所得者保険料軽減分：82,090,000円				
総務費分：247,552,000円		総務費分：247,807,000円		総務費分：270,695,000円		総務費分：288,002,000円				
計 1,497,547,000円		計 1,471,015,000円		計 1,590,398,000円		計 1,666,840,000円				
成果		介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	繰出額（千円）				1,497,547	1,471,015	1,590,398	1,666,840	—	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①		1,497,547	1,471,015	1,590,398	1,666,840	合計 1,590,398,000円			
	財源	特定財源	54,007	55,308	57,063	61,567	繰出金 1,590,398,000円			
		一般財源	1,443,540	1,415,707	1,533,335	1,605,273				
	職員人件費②		75	76	75	77				
	総事業費（①+②）		1,497,622	1,471,091	1,590,473	1,666,917				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費			0		低所得者保険料軽減負担金（国・県）			
6年度以降の事業費見込			0							

会計名 一般会計			高齡者能力活用事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	長寿生きがい係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターが実施する、定年退職者等に対する就業機会の確保を始めとする諸活動を支援する。			主たる内容	刈谷市シルバー人材センターに、補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律						
		対象者	刈谷市シルバー人材センター		事業期間	昭和54年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付	
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齡者の能力活用及び生きがいづくりを図ることができた。							
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標	シルバー人材センター会員数（人）			521	528	533	540	—	
指標									
他市との比較検証	近隣市の会員数（年度末時点） 令和4年度 碧南市 581人、安城市 1,083人、知立市 454人、高浜市 430人 令和3年度 碧南市 480人、安城市 1,096人、知立市 435人、高浜市 424人 会員数としてはほぼ横這いの市が多い。								
C 事業コスト	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①	19,075	21,029	24,094	31,974	合計	24,093,600円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金		
		一般財源	19,075	21,029	24,094	31,974	24,093,600円		
	職員人件費②	299	454	527	612				
	総事業費（①+②）	19,374	21,483	24,621	32,586				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			老人いこいの場整備運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	長寿生きがい係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。				主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
			根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱						
			対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	昭和48年度～			
			実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・いこいの場開設(34か所)		・いこいの場開設(33か所)		・いこいの場開設(33か所)		・いこいの場開設(33か所)		
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	いこいの場開設日数（日）			3,029	3,627	4,334	5,000	—		
活動指標	いこいの場利用者数（人）			32,265	34,718	42,050	43,000	—		
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①		3,192	3,176	3,095	3,168	合計	3,095,049円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,095,049円		
		一般財源	3,192	3,176	3,095	3,168				
	職員人件費②		971	984	979	1,378				
	総事業費（①+②）		4,163	4,160	4,074	4,546				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
		4年度までの累積事業費		0						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			高年齢者スポーツ等奨励事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	長寿生きがい係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり							
	目的	高齢者スポーツ大会の出場選手を激励するとともに、高齢者スポーツの振興を図る。			主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齢者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		岐阜大会：中止		岐阜大会：中止		神奈川大会：10人		愛媛県大会：7人		
		成果								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
成果指標		高齢者スポーツ大会出場者数（人）			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
指標				-	-	10	7	-		
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	0	100	120	合計		100,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		100,000 円	
		一般財源	0	0	100	120				
	職員人件費 ②		896	908	979	995				
	総事業費（①+②）		896	908	1,079	1,115				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			敬老金等支給事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	長寿課			
3	1	3					担当係	長寿生きがい係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり								
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。			主たる内容	○各地区等で行われる敬老会事業に対する補助 ○対象者に対する敬老金の贈呈					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
			根拠法令	刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老金支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱							
			対象者	※「B 事業実績」欄に記載			事業期間	～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画			
		・記念品（満80歳以上） 9,279人 ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 1,069人 満99歳（30,000円） 27人 満100歳以上（20,000円） 56人		・記念品（満80歳以上） ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）			
成果		多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。									
課題											
		指標名称（単位）				実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	記念品対象者（人）				9,279	9,864	—	—	—		
活動指標	敬老金対象者（人）				1,152	1,212	1,302	—	—		
他市との比較検証											
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳				
	事業費 ①		24,598	26,182	27,489	30,022	合計	27,489,397 円			
	財源	特定財源	1	2	3	2	報償費	14,510,000 円			
		一般財源	24,597	26,180	27,486	30,020	需用費	233,197 円			
	職員人件費 ②		2,389	2,423	1,581	1,607	役務費	349,000 円			
	総事業費（①+②）		26,987	28,605	29,070	31,629	負担金、補助及び交付金	12,397,200 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称					
4年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金（県）							
6年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			高齢者と小学生の交流促進事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護予防推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいくり						
	目的	高齢者がいきいきと輝く社会（多世代交流を通じた地域活動）を実現するため、高齢者に対し、子どもを対象とした地域活動への参加を促すとともに、担い手としての活躍を推進することを目的とする。		主たる内容	○多世代交流推進協議会の開催 ○地域活動の担い手の募集 ○担い手養成研修の開催 ○体験イベントの開催 ○地域の活動の実践				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	高齢者がいきいきと輝くまちづくり（多世代交流を通じたシニアの活躍推進）モデル事業実施仕様書						
		対象者	※目的に記載		事業期間	令和2年度～令和4年度			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		推進協議会の設置及び開催：2回 小学生・高齢者等へのニーズ調査の実施		推進協議会の開催：2回 モデル地区でのイベント企画 検討及び開催		推進協議会の開催：2回 モデル地区でのイベント企画 検討、開催及びイベント開催 後の評価検証		令和4年度にて事業完了	
成果		令和4年度は、全てのモデル地区で高齢者がいきいきと活躍する場として高齢者と子どもが交流するイベントを開催し、多世代交流の進め方のポイントを整理できた。（●井ヶ谷地区：苗植え、芋掘り●高津波地区：ウォークラリー、ミニ門松作り●刈谷中部地区：手持ち万燈作り、昔の遊びを教えるイベントを実施。）							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		推進会議の実施回数（回）			2	2	2	0	0
活動指標									
他市との比較検証		県の「高齢者がいきいきと輝くまちづくり（多世代交流を通じたシニアの活躍促進）モデル事業」を受託。受託自治体…刈谷市、蒲都市、津島市							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		1,324	200	497	0	合計	497,457 円	
	財源	特定財源	1,324	200	497	0	報償費	102,400 円	
		一般財源	0	0	0	0	旅費	3,440 円	
	職員人件費 ②		1,493	1,514	1,506	0	需用費	2,728 円	
	総事業費（①+②）		2,817	1,714	2,003	0	委託料	388,889 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		高齢者がいきいきと輝くまちづくりモデル事業委託金（県）					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護職の魅力向上事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護に関する理解を深めることで、介護職への関心を喚起し、介護人材の参入促進を図る。		主たる内容	刈谷わんさか祭り等のイベントに出展し、介護や介護の仕事の魅力に関する情報発信や周知活動を行う。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和3年度 ~ 令和5年度				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		—		・イベント出展 中止 ・介護職啓発物品の配布		・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布		・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布	
成果		各種イベントの再開に合わせ、感染症予防対策を行いつつ、介護現場に従事する介護職員と協働して出展するなど、介護や介護の仕事の魅力に関する情報発信や啓発活動を行ったことにより、介護人材の参入促進と将来における安定的な介護サービスの提供に向けた支援に繋げることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		イベント出展回数（回）			—	0	2	2	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	79	249	360	合計	248,512 円	
	財源	特定財源	0	59	186	269	需用費	79,992 円	
		一般財源	0	20	63	91	使用料及び賃借料 負担金、補助及び 交付金	106,700 円 61,820 円	
	職員人件費 ②		0	76	75	77			
	総事業費（①+②）		0	155	324	437			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		介護普及啓発事業費補助金（県）					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			配食サービス事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに、その安否を確認し、もって福祉の増進を図る。	主たる内容	○65歳以上の高齢者のみの世帯で、隣接地に扶養義務者が居住せず、配食サービスの提供が必要であると判断された人に対し、週3回以内の夕食を配達し安否確認を行う。 （カロリー・塩分制限等の必要の無い人を対象とした一般食） ○利用者負担は、1食につき300円。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市高齢者配食サービス事業実施要綱						
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成8年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・利用者数：438人 ・延べ利用食数：37,166食		・利用者数：451人 ・延べ利用食数：40,312食		・利用者数：495人 ・延べ利用食数：43,359食		・利用者数：550人 ・延べ利用食数：45,000食	
成果		見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。							
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、事業費も年々増加しているため、事業の総合的な見直しを検討する。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		配食サービス利用者数（人） （年度末時点の登録利用者数）		438	451	495	550	550	
活動指標		延べ利用食数（食）		37,166	40,312	43,359	45,000	45,000	
他市との比較検証		県内複数の市で同様の事業を実施している。配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費①		18,398	19,790	21,140	22,281	合計	21,140,241円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	21,140,241円	
		一般財源	18,398	19,790	21,140	22,281			
	職員人件費②		1,717	1,741	1,732	1,760			
	総事業費（①+②）		20,115	21,531	22,872	24,041			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、当該高齢者の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	主たる内容	○65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人に対して、月額5,000円の見舞金を支給する。 ○見舞金は、年2回（9月、3月）に分けて支給する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱							
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	昭和49年度～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・受給者数 前期：769人 後期：770人		・受給者数 前期：828人 後期：814人		・受給者数 前期：878人 後期：835人		・受給者数 前期：916人 後期：910人	
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。							
課題		高齢者数の増加に伴い、見舞金受給対象者の増加が見込まれるため、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防策を推進することが必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金前期受給者数（人）			769	828	878	916	916
活動指標		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金後期受給者数（人）			770	814	835	910	910
他市との比較検証		県内の約半数の市町村で同様の事業を実施している。 ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定するほか、要介護度や世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市町村もある。							
C 事業コスト		単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①	40,450	42,181	43,473	45,391	合計	43,473,464 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	46,464 円	
		一般財源	40,450	42,181	43,473	45,391	役務費	352,000 円	
	職員人件費 ②	2,912	3,861	979	995	扶助費	43,075,000 円		
	総事業費（①+②）	43,362	46,042	44,452	46,386				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。	主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者でおむつを利用している人に対し、1月当たり3,000円相当（要介護4又は5で、市民税非課税世帯の人は、1月あたり6,000円相当）のおむつ費用助成利用券を交付する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱							
	対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者	事業期間	平成8年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 計画 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・利用券交付者数 前期：657人 後期：686人		・利用券交付者数 前期：698人 後期：713人		・利用券交付者数 前期：746人 後期：739人		・利用券交付者数 前期：812人 後期：756人	
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減につながるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券前期交付者数（人）		657	698	746	812	812		
活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券後期交付者数（人）		686	713	739	756	756		
他市との比較検証	県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は一月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		15,628	18,387	20,218	22,847	合計	20,217,982 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円	
		一般財源	15,628	18,387	20,218	22,847	需用費	469,480 円	
	職員人件費 ②		2,315	1,590	1,732	1,760	役務費	754,000 円	
	総事業費（①+②）		17,943	19,977	21,950	24,607	扶助費	18,958,502 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			シルバーハウジング支援事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。	主たる内容	○老人デイサービスセンターひまわりに生活援助員を配置し、シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、定期的な訪問及び電話による安否確認を行う。 ○緊急通報システムにより連絡を受けた場合、すぐに駆け付けて適切な対応をする。なお、夜間及び休日は緊急通報受報業者により対応する。 ○生活援助員派遣手数料として、月額1,000円。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱						
		対象者	シルバーハウジングの入居者	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BD 実績 O 実施V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		部屋数：54戸		部屋数：55戸		部屋数：55戸		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		シルバーハウジングに居住する高齢者に対して生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができた。							
課題		シルバーハウジングの供給戸数を増やすことが困難である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	シルバーハウジング部屋数（戸）		54	55	55	—	—		
指標									
他市との比較検証	県営・市営住宅のシルバーハウジングに入居している世帯のほか、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯に生活援助員を派遣している市もある。利用者負担は無料から月4,900円まで様々である。								
C 事業コスト	単位：千円	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費①	12,837	12,989	10,403	15,946	合計	10,403,416円		
	財源	特定財源	66	52	68	60	委託料	10,403,416円	
		一般財源	12,771	12,937	10,335	15,886			
	職員人件費②	821	833	828	842				
	総事業費（①+②）	13,658	13,822	11,231	16,788				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		シルバーハウジング生活援助員派遣手数料					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生きがい活動支援通所事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	長寿生きがい係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	在宅の高齢者に対し、通所による各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上を図る。			主たる内容	65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人及び事業対象者でない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて、生活支援通所サービスを提供する。 ○あつまりん ボランティアを活用し、通所型の介護予防サービスを行う。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ 根拠法令	刈谷市生きがい活動支援通所事業実施要領							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成9年度 ~			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		実施延日数： 115日 利用延人数： 686人		実施延日数： 119日 利用延人数： 749人		実績延日数： 160日 利用延人数： 1,048人		高齢者福祉センター：月・水・金曜日開催 東刈谷市民センター：火曜日開催	
成果		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。							
課題		高齢者の閉じこもりを予防し解消するためには、社会参加の機会を提供することが重要であるため、より一層の周知発が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		生きがい活動支援通所事業実施延日数（日）			115	119	160	165	165
活動指標		生きがい活動支援通所事業利用延人数（人）			686	749	1,048	1,200	1,200
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,454	4,288	5,057	5,957	合計	5,057,340 円	
	財源	特定財源	343	375	524	930	委託料	5,057,340 円	
		一般財源	4,111	3,913	4,533	5,027			
	職員人件費 ②		1,643	1,666	1,732	1,760			
	総事業費（①+②）		6,097	5,954	6,789	7,717			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金			
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づいて、高齢者の福祉の増進を図る。	主たる内容	○刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として最大月額7,500円を支給する。 ○養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日用生活品の購入などに充てる。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令		老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱					
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		受給者数：7人		受給者数：8人		受給者数：6人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日用生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。							
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）		7	8	6	—	—		
指標									
他市との比較検証	養護老人ホームを持つ近隣4市（碧南、高浜、安城、知立）は皆補給金を7,500円/月としている。								
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		578	480	518	690	合計	517,500 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	517,500 円	
		一般財源	578	480	518	690			
	職員人件費 ②		1,045	1,060	1,054	1,072			
	総事業費（①+②）		1,623	1,540	1,572	1,762			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		在日外国人特別給付事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	長寿生きがい係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす人に対し、特別給付金を支給し福祉の増進を図る。			主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす人に対し、一月あたり1万円を支給する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成6年度 ~			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
受給者数：1人		受給者数：1人		受給者数：2人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。			
成果		市民だより等で事業の周知を行った。							
課題		対象者を適切に把握する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		在日外国人特別給付金受給者数（人）			1	1	2	-	-
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		90	120	150	240	合計	150,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	150,000 円	
		一般財源	90	120	150	240			
	職員人件費 ②		299	303	301	612			
	総事業費（①+②）		389	423	451	852			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者緊急一時保護居室確保事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齡福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッドをあらかじめ確保することで、高齡者虐待等における被虐待者の緊急一時保護に対応する。		主たる内容	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッド2床を365日確保する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	高齡者虐待の防止、高齡者の養護者に対する支援に関する法律 老人福祉法						
		対象者			事業期間	平成30年度 ~			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 8件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 7件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行う。 緊急一時保護件数 2件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行う。	
成果		虐待等高齡者の緊急一時保護に迅速に対応できた。							
課題		緊急一時保護の居室の場所の確保を今後どのようにしていくか、検証する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		緊急一時保護居室確保数（床）			2	2	2	2	2
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,417	4,591	4,687	4,261	合計	4,686,698 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料		4,686,698 円
		一般財源	4,417	4,591	4,687	4,261			
	職員人件費 ②		821	833	828	842			
	総事業費（①+②）		5,238	5,424	5,515	5,103			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			はいかい高齢者個人賠償責任保険事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	認知症等によるはいかいにより、鉄道事故等を起こす可能性のある高齢者を対象に、市がはいかい高齢者個人賠償責任保険に加入することにより、本人及び家族の損害賠償の負担軽減を図る。			主たる内容		行方不明高齢者等SOSネットワークに登録した人のうち、保険加入希望者を対象に、市が一括して保険加入する。		
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市行方不明高齢者等SOSネットワーク事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	令和元年度 ~		
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 91人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 105人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 111人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 150人	
成果		認知症等によるはいかいにより鉄道事故等を起こす恐れのある高齢者を対象に、市でははいかい高齢者個人賠償責任保険に一括で加入することにより、本人及びその家族の損害賠償負担軽減を図ることができた。							
課題		日常的にははいかいの恐れのある高齢者に対し、行方不明高齢者等SOSネットワークを含めさらなる加入促進を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数（人）			91	105	111	150	170
活動指標									
他市との比較検証		近隣市町では安城市、高浜市、知立市、碧南市で実施している。近隣市町も刈谷市と同様にSOSネットワーク事前登録者で保険加入を希望する方を対象としている。							
C 事業コスト V		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		177	239	298	341	合計	298,350 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	298,350 円	
		一般財源	177	239	298	341			
	職員人件費 ②		597	606	602	612			
	総事業費（①+②）		774	845	900	953			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			老人ホーム措置事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	原則として65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活することが困難な人が、自立した日常生活を営むために適切な支援が総合的に受けられるよう、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努める。			主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、措置に係る費用を支給する。 ※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ 根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：22人 他市：8人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：16人 他市：7人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：16人 他市：6人 (年度末時点)		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。		
成果		居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。								
課題		定員50名の施設であるが、半数が空き室である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	養護老人ホーム被措置者数（人）			30	23	22	—	—		
指標										
他市との比較検証	養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、半田市他）がある。									
C 事業コスト V	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		79,837	64,844	61,065	83,866	合計	61,065,052 円		
	財源	特定財源	63,786	47,859	44,670	68,728	報償費	40,000 円		
		一般財源	16,051	16,985	16,395	15,138	扶助費	61,025,052 円		
	職員人件費 ②		3,061	3,104	3,087	3,138				
	総事業費（①+②）		82,898	67,948	64,152	87,004				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム入所者措置収入						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	介護認定給付係	
3	1	3							
PLAN概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。				主たる内容	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の人で、前年收入や預貯金等が一定額以下などの要件を満たす人へ、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の1/2を助成する。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等へ、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の1/2を補助する。		
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令 刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他							
	対象者	※主たる内容に記載				事業期間	平成12年度～		
	実施方法	□直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	B D O 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		①助成人数	15人	①助成人数	15人	①助成人数	9人	①助成人数	15人
		助成額	617,885円	助成額	486,677円	助成額	381,851円	助成額	890,000円
②補助法人数		3法人	②補助法人数	2法人	②補助法人数	3法人	②補助法人数	3法人	
補助額		591,000円	補助額	554,000円	補助額	645,000円	補助額	1,354,000円	
成果	生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。								
課題	市民及び法人へ制度の周知を図ること。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
	活動指標	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）			15	15	9	15	15
	活動指標	②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）			591,000	554,000	645,000	1,354,000	1,354,000
他市との比較検証	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,209	1,041	1,027	2,270	合計 1,026,851 円		
	財源	特定財源	443	415	483	1,249	負担金、補助及び交付金 645,000 円		
		一般財源	766	626	544	1,021	扶助費 381,851 円		
	職員人件費 ②		224	227	226	230			
	総事業費（①+②）		1,433	1,268	1,253	2,500			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減事業費補助金（県）					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ケアプラン指導研修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護認定給付係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。			主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
		根拠法令	介護保険法							
		対象者	市内介護支援専門員		事業期間	平成18年度～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		ケアプラン指導研修会（2回とも中止）		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		
成果		介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上が図られたことで、適切なケアプランに基づく高齢者のサービス利用に繋がった。								
課題		介護支援専門員のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。参加ができない場合でも、研修資料の周知を行う。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		開催数（回）			0	2	2	2	2	
成果指標		延参加人数（人）			0	56	61	74	74	
他市との比較検証		刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	6	29	合計		6,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		6,000 円	
		一般財源	0	0	6	29				
	職員人件費 ②		75	76	75	77				
	総事業費（①+②）		75	76	81	106				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
		4年度までの累積事業費		0						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			高齡者施設等感染症対策支援事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全				主たる内容	○感染管理認定看護師の派遣 ○濃厚接触者等介護サービス提供継続支援金 ○介護サービス利用継続PCR等検査費補助金 ○簡易陰圧装置設置に必要な経費に対する補助金の交付 ○ゾーニング環境等整備経費に対する補助金の交付		
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	感染症のまん延等不測の事態に備え、事業者に対する感染症対策のための支援を行うことで、介護サービスの継続的な提供体制を確保する。								
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
		根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱							
		対象者	介護サービス事業者	事業期間	令和2年度～令和5年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・感染防止対策物品の配布 消毒液、使い捨て手袋、 非接触型体温計等 ・消毒経費に対する補助 補助件数 5件 補助金額 1,299千円 ・簡易陰圧装置の設置経費に 対する補助 補助件数 1件 補助金額 2,516千円		・感染防止対策物品の備蓄 防護服、アイシールド、 マスク ・簡易陰圧装置の設置経費に 対する補助 補助件数 1件 補助金額 649千円 ※消毒経費に対する補助は県 への直接申請に変更		・感染管理認定看護師派遣 10件 ・濃厚接触者等介護サービス 提供継続支援金 補助件数 24件 補助金額 9,348千円 ・介護サービス利用継続PCR 等検査費補助金 補助件数 2件 補助金額 16千円		・感染管理認定看護師派遣 に対する補助 補助件数 2件 補助金額 6,160千円 ・ゾーニング環境等整備経費 に対する補助 補助件数 4件 補助金額 18,270千円		
成果		感染者が発生した事業所に対し、早期に感染管理認定看護師を派遣し、発生初期段階で対策の徹底を図ることで感染の拡大を防ぐことができた。また、補助金の交付により、コロナ禍における利用者の介護サービス継続利用支援及び事業所のサービス提供継続支援を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		簡易陰圧装置設置費補助件数（件）				1	1	—	2	—
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト V		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		7,212	843	9,414	24,530	合計		9,414,000 円	
	財源	特定財源	3,815	649	8,864	24,430	報償費		50,000 円	
		一般財源	3,397	194	550	100	負担金、補助及び交付金		9,364,000 円	
	職員人件費 ②		75	76	75	77				
	総事業費（①+②）		7,287	919	9,489	24,607				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国）						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			養護老人ホーム管理運営事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	6					担当係	長寿生きがい係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者が入所するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。			主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市ふれあいの里条例						
		対象者	※目的に記載		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託	
成果		入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			26	19	23	—	—
指標									
他市との比較検証		老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		95,224	97,423	92,036	96,245	合計	92,035,500 円	
	財源	特定財源	6,045	5,392	4,478	6,229	委託料	91,799,000 円	
		一般財源	89,179	92,031	87,558	90,016	備品購入費	236,500 円	
	職員人件費 ②		299	454	527	536			
	総事業費（①+②）		95,523	97,877	92,563	96,781			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 在宅老人短期保護手数料 老人ホーム入所者措置収入			
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			養護老人ホーム改修事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	長寿生きがい係		
3	1	6								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	○天井扇改修工事 ○居室前手すり設置工事				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者				事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
【工事】 室内トイレ手すり設置工事 食堂パーテーション設置工事		【修繕】 居室トイレ便座取替修繕 【工事】 居室洗面所給湯設備設置等工事 網戸設置工事		【工事】 天井扇改修工事 居室前手すり設置工事		【修繕】 集会室床修繕 【工事】 集会室・浴室手すり設置工事				
成果		施設及び設備の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,737	6,939	1,815	1,580	合計		1,815,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費		1,815,000 円	
		一般財源	1,737	6,939	1,815	1,580				
	職員人件費 ②		149	151	226	459				
	総事業費（①+②）		1,886	7,090	2,041	2,039				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
		4年度までの累積事業費		0						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	長寿生きがい係	
3	1	7							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり及び交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市都市施設管理協会に委託する。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例						
	対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	平成13年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・浴室利用 ・マッサージ室利用 ・ふれあい交流室利用 ・講座の開催 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）		18,509	31,360	34,554	35,000	—		
活動指標	うち浴室利用者数（人）		10,736	20,951	19,645	20,000	—		
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。								
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		15,851	16,351	17,639	22,494	合計	17,639,412 円	
	財源	特定財源	549	594	791	834	報償費	327,000 円	
		一般財源	15,302	15,757	16,848	21,660	需用費	4,351,967 円	
	職員人件費 ②		299	454	527	536	役務費	26,000 円	
	総事業費（①+②）		16,150	16,805	18,166	23,030	委託料	12,355,825 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
6年度以降の事業費見込		0							
使用料及び賃借料				578,620 円					

会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	長寿生きがい係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。			主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市シルバー人材センターに委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則					
		対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	昭和62年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者市民講座の開催 講座室、多目的室等の利用 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えつつある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		高齢者市民講座参加者延人数（人）			1,701	2,870	3,553	3,600	—
活動指標		生きがいセンター延べ利用者数（人）			8,003	12,758	13,561	14,000	—
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		18,147	19,028	19,980	22,150	合計	19,980,117 円	
	財源	特定財源	111	52	0	10	役務費	13,082 円	
		一般財源	18,036	18,976	19,980	22,140	委託料	17,987,035 円	
	職員人件費 ②		299	454	527	536	使用料及び賃借料	1,980,000 円	
	総事業費（①+②）		18,446	19,482	20,507	22,686			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者交流プラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	長寿生きがい係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	高齡者福祉の拠点として、生きがいと健康づくり及び交流の場を提供し、高齡者福祉の向上を図る。			主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
	対象者	60歳以上の高齡者		事業期間	平成9年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 感染症対策特別清掃の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 大浴室利用 講座の開催 行事の開催 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		高齡者交流プラザ延べ利用者数（人）			34,120	51,702	58,644	60,000	—
活動指標		大浴室利用者数（人）			10,241	19,507	21,090	22,000	—
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		91,229	94,340	89,256	95,211	合計	89,256,384 円	
	財源	特定財源	0	1,895	0	10	役務費	75,440 円	
		一般財源	91,229	92,445	89,256	95,201	委託料	84,874,000 円	
	職員人件費 ②		299	454	527	536	使用料及び賃借料	3,120,154 円	
	総事業費（①+②）		91,528	94,794	89,783	95,747	備品購入費	1,186,790 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
		6年度以降の事業費見込		0					

会計名		いきいきプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	長寿生きがい係	
3	1					7			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令 刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	平成10年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 ・空気清浄機の設置 1台 ・サーキュレーターの設定 1台 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 ・トレーニング機器の更新 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニング室利用 ・歩行プール利用 ・講座の開催 ・行事の開催 	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	いきいきプラザ入館者数（人）		4,774	11,675	13,395	14,000	—		
活動指標	トレーニング室利用者数（人）		1,168	4,286	4,391	5,000	—		
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		37,563	33,354	33,299	35,893	合計	33,298,584 円	
	財源	特定財源	87	45	81	57	需用費	1,543,850 円	
		一般財源	37,476	33,309	33,218	35,836	役務費	21,734 円	
	職員人件費 ②		299	454	527	536	委託料	31,733,000 円	
	総事業費（①+②）		37,862	33,808	33,826	36,429			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターひまわり管理運 営事業				担当部	福祉健康部				
款	項	目				担当課	長寿課				
3	1	7				担当係	長寿生きがい係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実								
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じて自立した在宅生活を営 むことができるよう支援する。				主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市 社会福祉協議会に委託する。				
	位置づけ										
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画									
	根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則									
	対象者	介護保険法の規定に準じる				事業期間	平成9年度 ~				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画			
洗濯機の更新		高さ調整機能付きテーブルの更新		衣類乾燥機及び脱衣室扇風機の設置		リフト浴機械及び入浴用車椅子更新					
成果		物品の設置により快適な環境を提供し、利用者の利便性向上を図ることができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度			
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり実施日数（日）			293	291	293	293	—		
活動指標		老人デイサービスセンターひまわり利用者数（人）			6,987	6,231	6,011	6,100	—		
他市との比較検証											
C 事業 コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度 事業費内訳			
	事業費 ①		93	268	269	5,400	合計		268,980 円		
	財源	特定財源	0	79	0	0	備品購入費		268,980 円		
		一般財源	93	189	269	5,400					
	職員人件費 ②		299	454	527	536					
	総事業費（①+②）		392	722	796	5,936					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称					
		4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな管理運				担当部	福祉健康部		
款	項	目	営事業			担当課	長寿課		
3	1	7				担当係	長寿生きがい係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。				主たる内容	○施設の修繕 ○コロナ対策消耗品の購入		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者					事業期間	～		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・コロナ対策消耗品の購入		・施設修繕の実施 ・コロナ対策消耗品の購入		【修繕】 浴場床タイル修繕			
成果		施設の不具合箇所を修繕することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標									
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度 （決算）	3年度 （決算）	4年度 （決算）	5年度 （予算）	4年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	289	1,340	482	合計	1,339,953 円	
	財源	特定財源	0	0	0	10	需用費	1,094,967 円	
		一般財源	0	289	1,340	472	役務費	8,486 円	
	職員人件費 ②		0	454	527	536	備品購入費	236,500 円	
	総事業費（①+②）		0	743	1,867	1,018			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者交流プラザ改修事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	長寿生きがい係
3	1	7			

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全			
		基本施策	高齡者福祉			
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実			
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。	主たる内容	○修繕 自家発電設備修繕 浴槽設備修繕 西側ロータリー歩道修繕 ○工事 屋上防水改修工事 空調設備改修工事		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画				
	位置づけ 根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則				
	対象者	60歳以上の高齡者	事業期間	平成28年度～		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

B D O A 実 績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
	【修繕】	・真空式温水器部品等取替修繕 ・浴槽設備排水配管修繕 ・駐車場等看板修繕	【修繕】 ・天井扇取替修繕 ・自動制御器等取替修繕	【修繕】 ・自家発電設備修繕 ・浴槽設備修繕 ・西側ロータリー歩道修繕	【修繕】 ・消防用感知器取替修繕 ・浴室設備修繕	【工事】 ・空調設備改修工事 ・衛生機械設備改修工事	【工事】 ・空調設備改修工事 ・屋上防水改修工事 ・空調設備改修工事	【工事】 ・空調設備改修工事 ・衛生機械設備改修工事
成果	施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標	指標名称（単位）				実績値		目標値	
					2年度	3年度	4年度	5年度
他市との比較検証								

C 事業 コスト	単位：千円	2年度 (決算)	3年度 (決算)	4年度 (決算)	5年度 (予算)	4年度 事業費内訳	
	事業費 ①		9,572	123,736	101,618	10,400	合計
財源	特定財源	0	58,000	47,000	0	需用費	5,937,000 円
	一般財源	9,572	65,736	54,618	10,400	工事請負費	95,681,000 円
	職員人件費 ②	149	151	753	612		
	総事業費 (①+②)	9,721	123,887	102,371	11,012		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		4年度特定財源名称			
	4年度までの累積事業費	0		公共施設維持保全基金繰入金			
	6年度以降の事業費見込	0					

会計名			生きがいセンター改修事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	長寿生きがい係		
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	○高圧受変電設備改修工事			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者					事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
・駐車場改修工事		・駐車場出入口改修工事 ・高圧受変電設備改修工事		(R3繰越分) ・高圧受変電設備改修工事		・エレベーター改修工事				
成果		施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		600	1,362	9,020	32,940	合計	9,020,000 円		
	財源	特定財源	0	0	9,020	16,000	工事請負費	9,020,000 円		
		一般財源	600	1,362	0	16,940				
	職員人件費 ②		149	151	753	612				
	総事業費（①+②）		749	1,513	9,773	33,552				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
		4年度までの累積事業費		0		前年度繰越金				
6年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな改修事業				担当部	福祉健康部			
款	項					目	担当課	長寿課		
3	1					7	担当係	長寿生きがい係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	○外壁等改修工事				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	老人デイサービスセンターなのはな条例、老人デイサービスセンターなのはな条例施行規則							
		対象者	介護保険法の規定に準じる	事業期間	平成28年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
						外壁等改修工事		(R4繰越分) 外壁等改修工事		
成果		予算を前倒したことにより、早期に契約して改修工事の準備を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	0	26,000	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	26,000				
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		0	0	0	0				
	総事業費（①+②）		0	0	0	26,000				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			健康づくり推進施設補助事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
4	1	1							
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	健康づくり						
		施策の内容	健康の増進						
	目的	市民の健康を守り福祉の向上に資する。			主たる内容	一ツ木福祉センターの補完施設として、市民に開放されている介護老人保健施設の清掃業務費及び光熱水費を補助する。			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	医療法人豊田会			事業期間	平成10年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため利用実績はなし。		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため利用実績はなし。		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため利用実績はなし。		施設の一般開放、介護予防教室の開催			
成果		感染症拡大防止対策を優先し、介護老人保健施設の利用者の健康の保持に努めた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		日頃から健康づくり活動を実践している市民の割合（％）			71.2	—	68.3	80	80.0
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		9,504	9,348	8,855	8,970	合計 8,855,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 8,855,000 円		
		一般財源	9,504	9,348	8,855	8,970			
	職員人件費 ②		224	227	226	230			
	総事業費（①+②）		9,728	9,575	9,081	9,200			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							